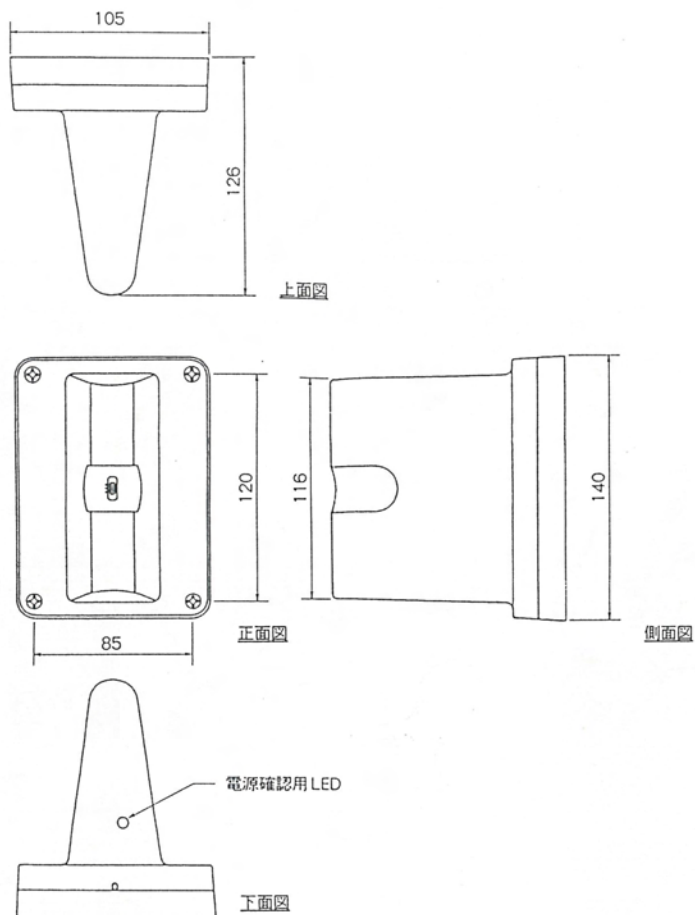
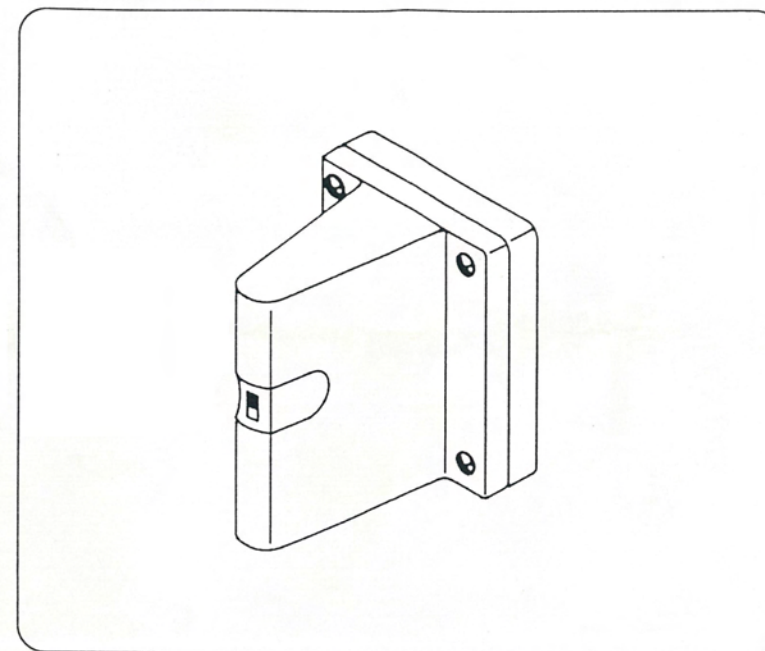


■外観寸法図



壁取付用ワイヤレスアンテナ EA801 取扱説明書



このたびは、MAXON壁取付用ワイヤレスアンテナEA801をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みになり、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

株式会社日伸音波製作所

■概要

本機はアッテネータスイッチ付き、アンテナエレメント、ブースタンプ内蔵型ダイポールアンテナです。

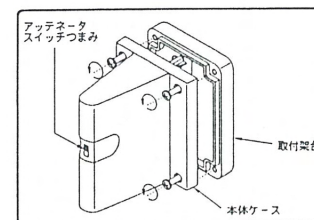
■設置上のご注意

- 外来電波の影響を少なくするために、高層階の室内などに設置する場合は、窓の近く（30cm以内）には設置しないでください。
- 本機には上下があります。電源確認用LEDが下になるように設置してください。
- 本機とワイヤレスマイクとの距離は、2～3m以上離してご使用ください。2m以内でご使用になりますと、使用していないチャンネルを動作させたり、混信などが発生することがあります。アンテナ間の距離は3m以上離して設置してください。
- 同軸ケーブルはインピーダンス50オーム、低損失タイプの5D-FB、7D-FB、8D-FBなどのケーブルをお使いください。同軸ケーブルは藤倉電線社製を推奨します。
- 同軸ケーブルはできる限り短く設置してください。同軸ケーブルが長いほど損失が増加します。
- BNCプラグはケーブルに合わせてBNCP-5DFB/BNCP-7DFB/BNCP-8DFBをお使いください。
- 同軸ケーブルとBNCプラグは、別にお買い求めください。

■設置のしかた

1. 本体ケースをはずします。

本体のネジ4本をゆるめ、本体ケースをはずします。



2. 同軸ケーブルを取付架台に通します。

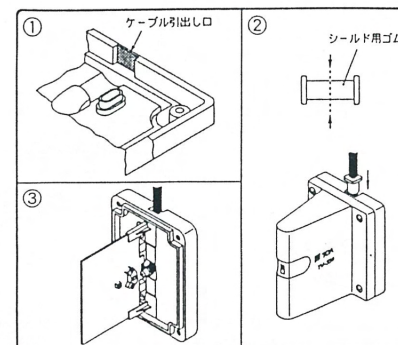
- 同軸ケーブルを天井または床から壁面に沿って配線する場合

- ① 取付架台のケーブル引出し口をニッパなどであけます。
- ② 付属のシールド用ゴムを半分に切断し、接続するケーブルに通しておきます。（ケーブル取付後、引出し口に押し込みます。）

ご注意

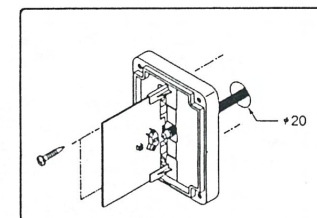
シールド用ゴムは共通部品のため、内径の小さい方には5C-FBと、大きい方には7C-FBと刻印されていますが、小さい方は5D-FB用、大きい方は7D-FB/8D-FBにお使いください。

- ③ 同軸ケーブルを図のように引き出します。



- 同軸ケーブルを壁面から直出しする場合

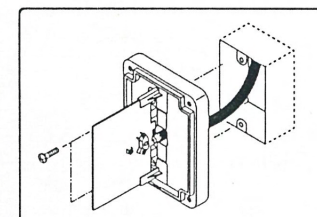
壁面にφ20mm程度の穴を開け、同軸ケーブルを図のように引き出します。



- 同軸ケーブルが埋込み電工ボックス（取付ピッチ83.5mm）で配線されている場合
電工ボックスから出た同軸ケーブルを図のように引き出します。

ご注意

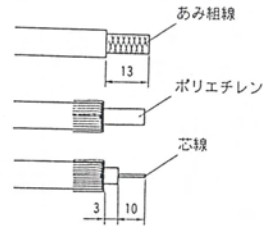
設置の際、配線処理の終わった同軸ケーブルを押し込みますので、配管は十分余裕のある太いパイプをご使用ください。



3. 同軸ケーブルの先端処理をします。

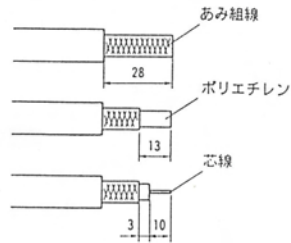
●5D-FBの先端処理のしかた

- ①端から13mmのところまで外被をむきます。
- ②あみ組線をほぐして折り返し、アルミ箔を切り取ります。
- ③端から10mmのところまで、発泡ポリエチレンを切り取ります。



●7D-FB/8D-FBの先端処理のしかた

- ①端から28mmのところまで外被をむきます。
- ②端から13mmのところであみ組線を切り、アルミ箔を切り取ります。
- ③端から10mmのところまで、発泡ポリエチレンを切り取ります。

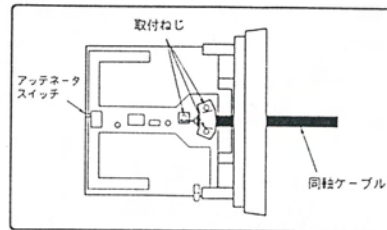


4. 同軸ケーブルをアンテナ基板に取り付けます。

- ①アンテナ基板の同軸ケーブル取付ネジ3本を十分にゆるめます。
- ②先端処理をした同軸ケーブルを挿入し、取付ネジ3本で締め付けます。

ご注意

アンテナ基板は共通部品のため、「USE 5C-FB 7CFB ONLY」と表示されていますが、同軸ケーブルは5D-FB/7D-FB/8D-FBを使用してください。

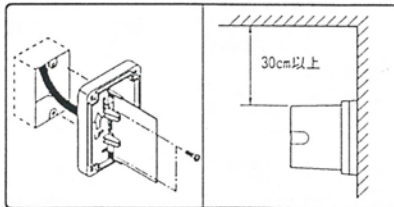


5. 取付架台を壁または電工ボックスに取り付けます。

壁面には付属の木壁用ネジ（呼び4×25）で、電工ボックスには電工ボックス用ネジ（M3.5×20）で取り付けます。

ご注意

取付架台は、天井から30cm以上離し、↑を上にして取り付けてください。アンテナは垂直に取り付けてください。水平に取り付けると受信感度が低下します。



6. 本体ケースを取付架台に取り付けます。

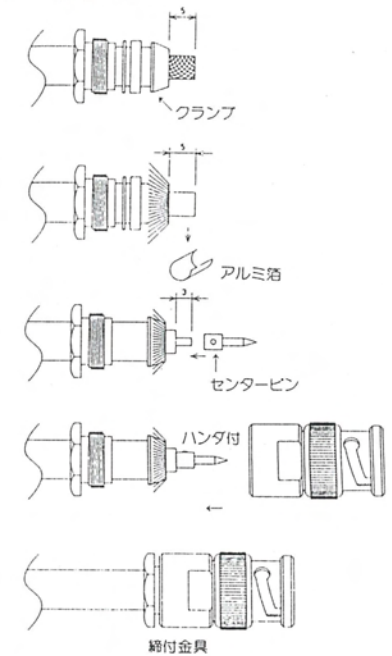
電源確認用のLEDが下になるように、本体ケースを取付架台に取り付けます。

ご注意

本体ケースのアッテネータスイッチつまみと、アンテナ基板のスイッチつまみの位置を合わせてから、本体ケースを取り付けてください。

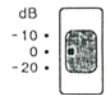
■BNCプラグと同軸ケーブルの接続のしかた

- ①端から5mmのところまで外被をはがします。
- ②あみ組線をほぐして裏返し、クランプの上に重ね、アルミ箔を剥します。
- ③クランプの直径より長いあみ組線は切断します。端から3mmのところまで発泡ポリエチレンを切り芯線をだし、センターピンを芯線にかぶせ半田付けします。
- ④プラグ本体を同軸ケーブルに差し込みます。
- ⑤プラグ本体をかぶせ、締め付け金具（ナット）を締め付けて固定します。



■アッテネータスイッチについて

同一チャンネルや近接チャンネルのワイヤレスマイクを近くで使用したときに生じる混信や、外来ノイズは、アッテネータスイッチの設定を変えることで、少なくすることができます。アッテネータの減衰量は0dB/-10dB/-20dBに設定することができます。（工場出荷時は0dBに設定してあります。）減衰量を多くすると混信などは少なくなると同時に、受信レベルが低下し、ワイヤレスマイクの使える範囲が狭くなります。混信などのない所では、アッテネータスイッチを0dBに設定してください。

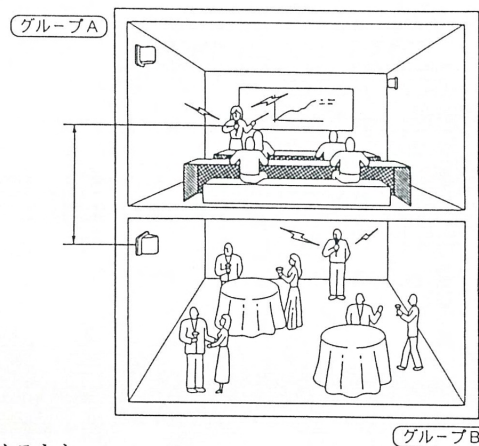


■他グループとの隣接使用について

グループの異なるシステムを隣接した場所で使用する場合、受信アンテナは別のグループのワイヤレスマイクから、同じ階の場合20m以上、階が異なる場合10m以上離れるように設置してください。同一場所では同一グループのシステム（6チャンネル以内）のみ使用できます。

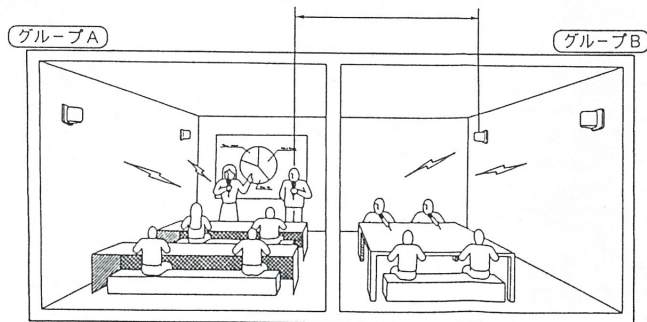
●別の階で使用するとき

異なるグループのアンテナとワイヤレスマイクの距離は10m以上離してください。



●同じ階で使用するとき

異なるグループのアンテナワイヤレスマイクの距離は20m以上離してください。



ご注意 距離は目安です。壁、天井、床の材質によって異なります。

■アフターサービスについて

●保証書

保証書は販売店よりお渡しいたします。必ず「販売店名・購入年月日」などの所定事項の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。保証期間はお求めの日から1年間です。

●保証期間中に修理を依頼されるとき

お求めの販売店にご連絡ください。保証書の記載事項の範囲内で弊社アフターサービス機関が修理をさせていただきます。

修理を依頼される場合は「製品名・品番・故障の内容や異常の状況・購入年月日・住所・氏名・電話番号」を必ずご連絡ください。

●保証期間経過後に修理を依頼されるとき

お求めの販売店にご連絡ください。修理によって機能が維持できる場合、ご要望により有料で修理いたします。

修理を依頼される場合は「製品名・品番・故障の内容や異常の状況・購入年月日・住所・氏名・電話番号」を必ずご連絡ください。

■主な仕様

電源	DC7~12V（レシーバー又はアンテナディストリビュータ本体から供給）
消費電流	25mA以下（8V時 20mA以下）
受信周波数範囲	806MHz~810MHz
ダイポール比相対利得	約+8dB（ブースタンプを含む）
アッテネータ	0dB/-10dB/-20dB（公称）
V SWR	2.6以下
出力インピーダンス	50Ω
取付穴ピッチ	83.5mm
使用温度範囲	-10℃~+50℃
寸法	105mm(W)×140mm(H)×126mm(D)
重量	約300g

本機の仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

●付属品

シールド用ゴム	1
木壁用セルフタックネジ（呼び4×25）	2
電工ボックス用小ネジ（M3.5×20）	2
取扱説明書	1
保証書	1